

編集 後記

編集顧問 町田豊平

編集委員 郡 健二郎

小川秋實 秋元成太 村井 勝

藤岡知昭 大家基嗣

ワシントン DC への機内に、敬愛する先輩に読むことを薦められました、ポール・トーディ著『イエメンで鮭釣りを』を持ち込みました。題名を見て、『ギンザで蜂蜜を』（この著者はわが町盛岡の養蜂家で、銀座のビルの屋上で蜜蜂の巣箱を設置し、銀座並木の花々より蜜を採取したという実録です）と同じようなことかと思いました。「銀座の蜂蜜」にはなんとも言い難いロマンを感じます。しかし、「イエメンでのサケ釣り」は小説ではありますが、読み始めて夢のような膨大なスケールの国家プロジェクトとして展開している話であることに気づきました。イエメンの1人の王族が英国流の釣りに魅せられて、英国の魚類研究者の協力のもと、母国の川に鮭を放流、さらには鮭釣りを国民に普及させたいというストーリーが絶妙な言い回しで構成されています。なんといっても、砂漠に最新設備を整えた巨大な養殖施設を建設し、そこに北アイルランドより鮭を空輸して養殖、さらには雨期の川に放流するという経費に糸目をつけないびっくりする発想です。また、最近話題のテロ組織・アルカイダも重要な役割で登場します。この流れの根底には、主人公である研究者の子供のいない自立した夫婦間の葛藤や淡いロマンスも程よく含まれています。結末は意外な展開となりますが、プロジェクトは1匹の鮭が釣られて一応成功ということで終結しています。この本を読み終えて考えたことは、現在、結石治療の標準療法である ESWL の誕生にも、「イエメンで鮭釣りを」と

同様な中東の石油利権を背景とした偉大なロマンの発想が散在したと確信したことであり、改めて「アラブの偉大さ」を噛みしめた12時間の飛行となりました。

さて、今月号は「特集：血液透析－カレントトピックス」です。聖マリアンナ医科大学 小島茂樹先生らによる「透析導入」、川島病院 土田健司先生らによる「血液透析法のトピックス」、大阪市立大学 武本佳昭先生らによる「パスキュラーアクセスガイドライン」、桃仁会病院 岩元則幸先生らによる「CKD-MBD について」、大阪府立急性期・総合医療センター 椿原美治先生による「腎性貧血」、東京女子医科大学 小川哲也先生らによる「心血管合併症」、大阪市立大学 長沼俊秀先生らによる「脳血管障害」、新潟大学 瀧澤逸大先生らによる「腎腫瘍性病変」についてであり、主にガイドラインを中心に実践的に解説していただきました。近年、血液透析は腎臓内科または血液透析部の担当となり、泌尿器科医の手を離れている施設も多いと思います。しかし、本来、泌尿器科専門医にとりまして、腎移植とともに必須の分野であります。今回の特集は、近年の血液療法の最近の話題を整理提供できる有益なものと考えます。

その他、症例報告として1篇、茅ヶ崎市立病院 小貫竜昭先生らによる「カルチノイド腫瘍が混在した前立腺小細胞癌」を掲載しています。

(藤岡知昭)

臨床泌尿器科 (第65巻 第8号) (通巻778号)

2011年7月20日発行 (毎月1回20日発行)

定価 2,835 円 (本体 2,700 円 + 税 5%)

2011 年年間購読料

冊子のみ 41,360 円 冊子 + 電子版 53,800 円

電子版/個人 41,360 円 電子版/共有 47,570 円

増刊号を含む13冊、税込、送料小社負担

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5709

(担当：登・安部)

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

E-mail: rinpi@igaku-shoin.co.jp

振替口座 東京 00170-9-96693 番

印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005

広告申込所 (有)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2011, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載された著作物の複製・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信 (送信可能化権を含む) に関する許諾権は医学書院が保有しています。

・ 本誌を無断で複製する行為 (複製、スキャン、デジタルデータ化など) は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的 (診療、研究活動を含む) で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・ **JCOPY** < (株) 出版者著作権管理機構 委託出版物 >

本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、(株) 出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。